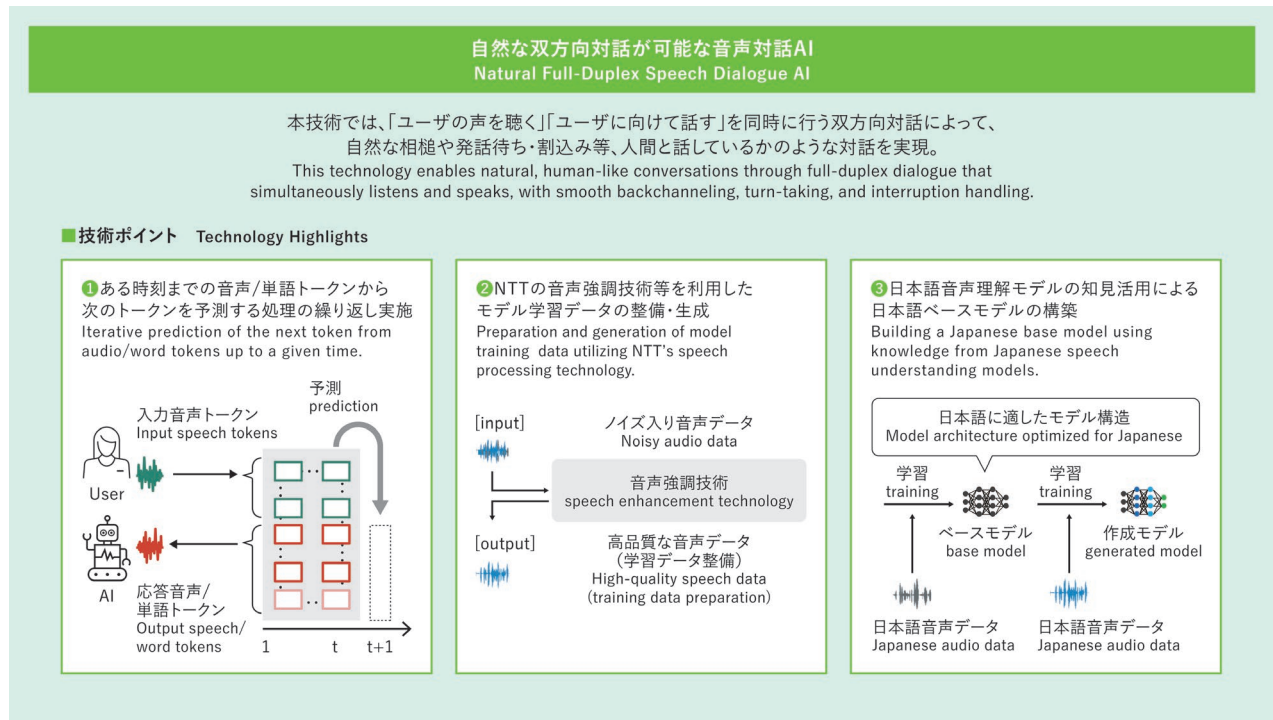


自然な相槌や発話待ち・割り込みにより、人間と話しているかのような対話を実現します 自然な双方向対話が可能な音声対話AI

背景 – 技術課題

既存の音声対話AIの多くは相手の話し終わりを待つ必要があるため、対話のテンポが悪く、機械と話しているような印象を与えがちでした。



研究目標 – 成果

コールセンタを中心とした接客・応対業務に広く活用可能なAI対話システムを実現し、接客業を中心とした人材の不足、過重労働などの社会的課題の解決をめざします。

技術ポイント

01 要素技術

双方向対話のやりとりを丸ごとモデル化することで、人間らしい双方向での対話を学習させます。さらにコールセンタなどの接客対話を大量に学習させ、自然かつ丁寧な応対をめざします。

02 市中技術差異点

日本語音声対話の研究、保有データのアドバンテージを武器に、日本人にとって心地よい日本人らしい音声対話を実現します。

利用シーン コミュニケーション・サービス

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY27-29

【出展企業】
NTT株式会社 人間情報研究所

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
デジタルツインコンピューティング研究プロジェクト

【関連Link】
—